

木更津工業高等専門学校

平成 18 年度 地域共同テクノセンター活動報告

平成 18 年度活動の結果と点検評価

1. 新たな活動
 - 1.1 「レベルアップ講座」(木更津工業高等専門学校技術振興交流会)の新設と開催
 - 1.2 木更津市商工会議所青年部 50 周年事業[夢工房 2006]への協力
2. 継承した事業活動
 - 2.1 木更津工業高等専門学校技術振興交流会への協力
 - 2.1.1 テクノフォーラム
 - 2.1.2 技術振興交流会分科会
 - 2.1.3 技術振興交流会ホームページ
 - 2.2 生涯教育, 出前授業など
 - 2.2.1 2006 サイエンススクエア
 - 2.2.2 出前授業
 - 2.2.3 公開講座
 - 2.2.4 テレワークセミナー
 - 2.3 外部資金の確保
 - 2.3.1 共同研究, 受託研究, 奨学寄附金及び受託試験
 - 2.3.2 技術相談事業
 - 2.4 その他外部機関等との交流
 - 2.4.1 研究・技術成果公開・出展・発表に関する事業
 - 2.4.2 審議委員等の派遣事業
 - 2.4.3 地域交流(訪問)
 - 2.4.4 地域交流(来校)
 - 2.5 広報事業
 - 2.5.1 メディア作成
 - 2.5.2 メディア発信
 - 2.5.3 公的機関の広報紙発信
- 3 ラボの稼働状況
- 4 その他
- 5 課題等

運営委員会の実績

運営委員会委員と事務部担当

- 地域共同テクノセンター運営委員会 -

平成18年度活動の結果と点検評価

1. 新たな活動

1.1 「レベルアップ講座」(木更津工業高等専門学校技術振興交流会)の新設と開催

技術振興交流会では会員の技術力アップを目的に会員向け講座開設の申し合わせを作成した。これを受けて18年度3件の「レベルアップミニ講座」が開講された。実施結果を表1-1に示す。

表1-1 レベルアップ講座実施結果

講座名	内容	実施日 (時間数)	担当分科会 (実施者)	参加人数 (実施場所)
防災入門	1. 防災に関する講義とビデオ上映(2h) 2. 防災に関する避難路の実体験(2h) 3. まとめ(2h)	平成18年 12月15日 (6時間)	環境土木系 (環境都市工学科 助教授 鬼塚信弘 教授 佐藤恒明)	会員3名 (CC実験室 アクアライン)
ものづくり講座 機械加工の基礎 (旋盤編)	1. 工作機械(旋盤)を使ってものづくりをする。 2. ものづくりを通して金属加工の基本や機械の操作、安全について学ぶ。	平成19年 2月24日 (6時間)	教材開発 (機械工学科 教授 石出忠輝 支援センター 秋葉和美)	会員3名 学内3名 (実習工場)
コンクリートのアルカリ骨材反応と簡易推定試験講座	1. コンクリートのアルカリ骨材反応に関する基礎的な知見の学習 2. 本校で研究している細骨材のアルカリ骨材反応性簡易推定試験方法の実習 3. アルカリ骨材反応に関する今後の対策と簡易推定試験方法に関するディスカッション。	平成19年 2月16日 (6時間)	環境土木系 (環境都市工学科 講師 青木優介)	会員8名 (実験実習 センター)

1.2 木更津商工会議所青年部50周年事業[夢工房2006]への協力

木更津商工会議所青年部の50周年記念事業(7月30日)への協力依頼があり、物作り講座で協力した。協力した物作り講座は以下の通りである。

万華鏡づくり(高橋邦)

ゲルマラジオの製作(飯田, 岡本, 大澤)

風に向かって走るウインドカー(板垣, 石出, 清水, 金綱)

君にも作れる光通信(栗本, 大枝, 米村)

実施は各講座1回で15名が基準。午前午後それぞれ1回、計2回ずつ実施した。当日はWebからの申し込みを行ったが、同日行われていた「米村でんじろう」のイベントの受付と多少混乱した。しかしアンケートの結果は大変良好で、「やや満足」の回答を含めれば全員から満足との回答があった。

【点検評価】

レベルアップ講座は、実施方法の整備とアナウンスが遅れたため、年度末に3件しか実施できなかった。来年度は件数を増やすよう努力する必要がある。

木更津商工会議所青年部との事業は参加者の満足度も高く成功であったが、予算の確保に問題を残した。今後、このようなイベントに対する協力依頼が増えた場合は、予算確保、本務への影響等を考慮して、調整をすることを考える必要がある。

2. 継承した事業活動

2.1 木更津工業高等専門学校技術振興交流会への協力

2.1.1 テクノフォーラム

例年に倣い2回開催された。

今年度は石出副センター長が主担当になり、学外から技術振興交流会理事の鶴岡幹事、学内委員の岡本、高橋克、伊藤、東委員が担当した。講演内容等を表2-1に示す。

表2-1 平成18年度テクノフォーラム講演内容

回数	講演内容（講師）	日時・参加人数
5回	講演 失敗に学ぶ - 健全な組織経営のための経営者倫理 - （東京大学 濱口哲也） 分科会活動報告 教材開発分科会からの報告（情報工学科 栗本） 地域連携活動報告 夢工房 2006 からの報告（機械工学科 板垣）	9月26日(火)実施 参加者 116名(うち学内 54名)
6回	講演 中小企業・ベンチャー総合支援センターが実施する中小企業・ベンチャー企業の 支援策と支援事例について（独立行政法人中小企業基盤整備機構 奥山哲也） 共同研究事例発表 耐候性鋼を使用した橋梁の腐食状況について（環境都市工学科 佐藤） コンクリート構造物の維持管理に関する研究（環境都市工学科 青木）	3月13日(火)実施 参加者 90名(内 47名学内)

2.1.2 技術振興交流会分科会

委員長会議が2回開催された。第1回は5月2日、第2回は11月14日。また、分科会は10に統合され、延べ28回の分科会が実施され、参加延べ人数は約350人であった。なお、分科会委員長は本校教員が担当しており、内容については、各分科会の議事要旨に纏められている。また、「木更津工業高等専門学校技術振興交流会2006年度報告」（担当鈴木副センター長）にリストがまとめられている。

2.1.3 技術振興交流会ホームページ

昨年度技術振興交流会役員会において事務局である本校がホームページの立ち上げを提案し、knct-koryu.jpを立ち上げた。本年度は全会員にメールが配布できるよう改良を行ったが、運用の実績は多くない。

【点検評価】

フォーラムは例年どおりの実施であるが、分科会の回数が減少してきた。また外部からの参加者が少なくなっていることも指摘されている。ホームページの活用やレベルアップ講座を充実させ、新たな会員勧誘などを行いながら、活動の活発化をはかる必要がある。

2.2 生涯教育, 出前授業など

2.2.1 2006 サイエンススクエア

高専機構本部より依頼を受け、関東地区5高専(木更津、東京、茨城、小山、群馬)が国立科学博物館に協力した。本校は8月15日(火)より8月20日(日)の1週間に亘り参加した。今年度は中小企業基盤整備機構との連携事業の意味合いもあり、中小企業基盤整備機構のブース出店に協力をした。

参加教職員12名、学生19名が参加し、ほかに中小企業基盤整備機構経由でのインターンシップとして3名の学生が参加した。本校のテーマは比較的人気が高く、全日程で600名全ての予約が埋まった。当日のアンケートの結果では、97%の参加者が満足(満足とやや満足の合計)と答えている。

表2-2 サイエンススクエア 実施日程表

	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	8月20日
午前の部(2回)	万華鏡を作ろう		電気でゆらゆら振り子のおもちゃ作り		万華鏡を作ろう	
午後の部(3回)	偏光フィルムでステンドグラスを作ろう		万華鏡を作ろう		君にも作れる光通信	
	B 高橋, E 大澤 M 石出, D 鈴木 齋藤	B 高橋, E 岡本 D 鈴木, E 大澤 齋藤	E 飯田, E 岡本 D 鈴木, E 大澤 B 高橋, 富田	E 飯田, E 大澤 E 岡本, B 高橋 富田	B 高橋, J 栗本 J 米村, E 大澤 原	B 高橋, J 栗本 J 大枝, E 大澤 齋藤

2.2.2 出前授業

「理数大好きプラン」等も含めた出前授業のリストを表2-3に示す。表中太字は「理数大好きプラン」による出前授業である。昨年度に比べると、「理数大好きプラン」での依頼が増えたばかりでなく、公民館・教育センターなどの依頼も増えている。

表2-3 出前授業リスト

月 日	依頼者	内容	学年人数
7月5日	木更津第一中学校	万華鏡(8時から5時)	1年生3クラス105名
7月6日	大田中学校	ゲルマラジオ(午前)	2年生63名
7月6日	鎌足中学校	万華鏡(午前)	1年生15名
7月13日	大田中学校	ゲルマラジオ(午前)	2年生60名
7月14日	木更津第一中学校	ゲルマラジオ(午後)	1年生35名
7月15日	木更津第一中学校	ウインドカー(午後)	1年生35名
7月16日	木更津第一中学校	電子オルゴール(午後)	1年生35名
7月中旬	鎌足中学校	ゲルマラジオ	2年生15名
7月22日	袖ヶ浦市立総合教育センター	万華鏡(9:30~11:30分)	15名
7月30日	木更津青年会議所(木更津市民会館)	万華鏡・ウインドカー・光通信・一弦ギター	各20名×2(160名)
8月15-20日	科学博物館(サイエンススクエア)	万華鏡・電気でゆらゆら・光通信	600名
9月9日	木更津市西清川公民館	万華鏡(13:30~15:30)	20名
10月2日	木更津第一中学校	光通信	78名
11月17日	大田中学校	光通信	3年生116名
10月7日	木更津市西清川公民館	紙飛行機(13:30-15:30)	19名
10月2日	木更津第一中学校	炭電池カー	109名
11月23日	長浦おかのう図書館	ステンドグラス	23名
11月11日	木更津第三中学校(地域ふれあいデー)	光通信・ゲルマラジオ	2クラス混合30名
11月17日	岩根中学校	ゲルマラジオ	2年生90名
11月25日	富来田公民館	電子オルゴール(9:00-12:00)	20名
12月23日	市川現代産業科学館	クリスマス実験講座13:00-14:30	小中学生70名

2.2.3 公開講座

公開講座・オープンセミナーの実施リストを表 2-4 に示す。公開講座テーマ数 7件、オープンセミナーテーマ数 24 件あり、件数は増加している。(17 年度 26 件、16 年度 14 件、15 年度 15 件、14 年度 10 件) アンケート結果によれば、やや満足も含めた満足度は、公開講座 96%、オープンセミナー 91%であった。

表2-4 公開講座・オープンセミナーの実施実績

	NO	学科等		対象	講座名(開催日)	受講者
公開講座	1	電子制御工学科	大橋	一般(中学生除く)	Webカメラを用いた画像配信技術とその応用(7月22日)	2
	2	環境都市工学科	佐藤	中学3年生	中学3年生のためのタッチタイピング4時間で完全マスター(7月23日)	0
	3	環境都市工学科	鬼塚	一般(18歳以上)	あなたに宅地選びのコツ教えます! - 実例に基づく地盤・地形データと路線価の見方 - (7月23日)	3
	4	電子制御工学科	鈴木聡	中学生	移動ロボット製作教室(7月25~27日)	14
	5	電子制御工学科	大橋	中学生	PCの自作講座 初級編(8月1日)	4
	6	電気電子工学科	上原	一般社会人	やさしい電気回路(8月5~6日)	2
	7	基礎学系	鎌田	中高理数系教員	LaTeXによる教材作成支援(8月23日)	0
オープンセミナー	1	支援センター	金井	初心者	楽しいパソコンセミナー~初心者のためパソコン教室~(5月28日)	24
	2	支援センター	水野	社会人	こんなに簡単クルマの基本「大きな安全は小さな安心から」(6月4日)	2
	3	電子制御工学科	大橋	高校生以上	Webカメラを用いた防犯対策講座(6月3日)	4
	4	人文学系	篠村	中学生	ウエルネスセミナー「ジュニアユースバレーボール教室」(6月18日)	67
	5	電子制御工学科	大橋	高校生以上	Webカメラを用いた防犯対策講座(6月24日)	1
	6	人文学系	清野	小学生	ウエルネスセミナー「柔道ってどんなもの」(7月2日)	27
	7	電子制御工学科	大橋	高校生以上	Webカメラを用いた防犯対策講座(7月15日)	2
	8	電気電子工学科	浅野	小4~中学生	タイヤなしライントレースロボットを作ろう(7月15日)	10
	9	支援センター	金井	中学生以上	パソコンでプレート彫刻~オリジナル・キーホルダー作り~(7月17日)	3
	10	環境都市工学科	佐藤	小3~小5年	牛乳ミニパックで橋づくり(7月20~21日)	7
	11	電子制御工学科	鈴木聡	中学生	プログラミングの知識なしでマイコンを動かそう!(7月24日)	5
	12	情報工学科	小林	小学5年~成人	IT講習会(7月25日)	5
	13	情報工学科	斉藤	中学生以上	3次元コンピュータグラフィックス入門(8月5日)	3
	14	人文学系	中村	中学生以上	英語のライティング(8月9~11日)	6
	15	機械工学科 支援センター	秋葉	中学生以上	サンドブラストアートを楽しもう(8月22日)	11
	16	基礎学系	高橋邦	小4~中学生	青少年のためのおもしろサイエンス(8月23日)	29
	17	機械工学科 支援センター	小林	中学生以上	鋳造でメダルを作ろう(8月25日)	5
	18	人文学系	篠村	小学生	ウエルネスセミナー ジュニアバレーボール交流教室 (9月9日~10月14日土曜日3回)	27
	19	環境都市工学科	鬼塚	小学高学年以上	地震ってなに? - 地震被害状況の説明と液化化模型実験の体験 - (9月10日)	7
	20	基礎学系	高橋邦	小学4年~ 中学生	青少年のためのおもしろサイエンス(10月29日)	29
	21	支援センター	金井	初心者	パソコンで年賀状をつくらう~初心者のためのパソコン教室~(11月18日)	22
	22	人文学系	坂田	中学生	ウエルネスセミナー「陸上競技スプリント教室」(3月24日)	1
	23	人文学系	坂田	中学生	ウエルネスセミナー「陸上競技スプリント教室」(3月31日)	1
	24	機械工学科	大藤	中学生以上	背骨と健康(カイロプラクティックの立場から)(2月11日)	49

平成 18 年度 千葉県・市町村河川行政シンポジウム「魚に配慮した川づくりの調査・設計に関するセミナー」(3月12日)

テーマ[「魚の棲みかについて学ぶ」, 「魚の棲みかを育むにはどうすればよいか」, 「パソコンで川の流れを再現する」]
講師 環境都市工学科 石川

2.2.4 テレワークセミナー

木更津市との協働事業であり、10月から12月にかけて実施する市民講座である。実施実績を表2-5に示す。今年度テーマ数は11件(平成17年度10件、16年度14件、15年度16件、14年度8件)でありほぼ例年並み。満足度は89%であった。

表2-5 テレワークセミナー実施実績

NO	学科等		対象	講座名	開催日	受講者数
1	電子制御工学科	鈴木聡	小学生・中学生	レゴロボット(第1回)	10月14日	10
2	機械工学科	大藤	中学生以上	カイロプラクティックについて	10月15日	5
3	電子制御工学科	大橋	一般(中学生除く)	ホームページ作成入門(第1回)	10月21日	14
4	電子制御工学科	大橋	小学高学年・中学生	音声処理の体験学習	10月21日	4
5	電気電子工学科	飯田	未定	インターネットの活用とブログ	10月22日	16
6	情報工学科	米村	中学生以上	エクセルで家計簿です!	11月11日	11
7	環境都市工学科	青木	小学生	かんたん!コンクリートづくり	11月12日	6
8	情報工学科	東	高校生以上	パワーポイントでプレゼンをやってみよう	11月18日	8
9	情報工学科	大枝	小学生以上	かんたん年賀状作り	11月18日	18
10	電子制御工学科	鈴木聡	小学生・中学生	レゴロボット(第2回)	11月19日	10
11	電子制御工学科	大橋	一般(中学生除く)	ホームページ作成入門(第2回)	12月16日	8

【点検評価】

例年通りの開催であるが、出前授業の件数が増えている。公民館などの出前授業が増えており、参加してくれる教員の負担が増している。また、材料費、交通費、アシスタント学生の手当など、宣伝費と割り切って経費を計上するか、実費を徴収する方向で実施するか、あるいは年間の回数を決めて年度初めに公募する方法で年間の実施回数を制限するか、等何か方策を考える時期に来ているのかも知れない。

2.3 外部資金の確保

2.3.1 共同研究、受託研究、奨学寄附金及び受託試験

共同研究、受託研究、奨学寄附金及び受託試験について、平成14年度からの実績を表2-6に示す。共同研究は年々増加してきたが、本年度は7件となり額も前年度並みであった。受託研究は1件と減少した。受託試験は昨年度並みである。奨学寄附金の件数は昨年度に比べると増加している。

表2-6 外部資金

年度	共同研究		受託研究		奨学寄附金		受託試験	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
H14	1件	2,000	0件	0	16件	11,563	32件	353
H15	3	5,600	2	1,250	16	9,180	68	636
H16	7	10,230	1	105	20	12,930	23	152
H17	9	13,610	3	1,618	18	10,900	57	125
H18	7	13,990	1	1,180	23	15,430	16	187

参考に科学研究費補助金の採択状況を表2-7に示す。科学研究費補助金を含めた外部資金の合計は38,040千円であるが、これは学科学系配分額の45,869千円と比較すると、約83%に及んでいる。

表2-7 科学研究費補助金(含む継続)

年度	基盤B		基盤C		奨励		若手B		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H14			4	5,100			2	1,900	6	7,000
H15			3	2,500			4	5,400	7	7,900
H16			3	2,000	1	750	5	3,900	9	6,650
H17			2	1,300	2	1,440	3	3,400	7	6,140
H18			6	10,200	1	680	2	3,500	9	14,380

2.3.2 技術相談事業

(1) 本校における技術相談 : 12件(17年度13件, 16年度14件, 15年度5件)

(2) 東葛テクノプラザでの技術相談: 0件(17年度0件, 16年度0件, 15年度2件)

例年通り夏季と春季休業中に2回実施し、相談員12名(17年度10名)を派遣した。実施一覧を表2-8示す。

表2-8 平成18年度9月期技術相談(東葛テクノプラザ3F技術支援室)

相談日時	担当教員氏名	専門分野	専門分野の内容
9月15日(金) 11:00~15:00	電気電子工学科 岡本 保 助教授	半導体物性, 半導体デバイス	結晶成長技術, 材料評価, 光計測
	環境都市工学科 佐藤恒明 教授	橋構造	橋構造に生じる局部応力の解析評価, 耐候性鋼橋の安定化錆に関する評価判定指標の検討
9月21日(木) 11:00~15:00	機械工学科 板垣貴喜 助教授	玉軸受の異常振動, トライボロジー	玉軸受の振動解析, グリース潤滑された玉軸受の異常振動
9月29日(金) 11:00~15:00	基礎学系 田所勇樹 講師	Riemann 面, トポロジー	多様体上の反復積分, 画像類群
	電子制御工学科 泉 源 助教授	アンテナ工学	アンテナ設計・評価, マイコンを用いた計測・制御
	情報工学科 東 雄二 助教授	データ処理プログラム開発, 計測システム開発, 雷観測システム開発	雷観測システムの設計と開発, GP-IP 計測システム開発, 多変量解析の分析手法開発

表2-8 平成18年度3月期技術相談(東葛テクノプラザ3F技術支援室)

相談日時	担当教員氏名	専門分野	相談内容
3月12日(月) 11:00~15:00	電子制御工学科 伊藤操 助教授	材料力学, 塑性力学, 材料強度学	構造物の疲労破壊, 高圧力下の金属の変形。焼結材料の特性など金属材料の変形と破壊関係
3月13日(火) 11:00~15:00	機械工学科 黄野銀介 助手	精密加工, 工作機械, 機械材料学	研磨関連(ラッピング・ポリッシング), 平面研削盤, ボールねじ
3月15日(木) 11:00~15:00	電気電子工学科 浅野洋介 助手	ロボティクス, 自動制御 画像処理	歩行ロボットの研究・開発, カメラを利用したロボットの行動制御
3月16日(金) 11:00~15:00	基礎学系 相川正美 教授	金属錯体の化学, 環境化学	水溶液中の金属イオンの分析・解析, 河川水の浄化・分析, 木炭の性能評価
3月22日(木) 11:00~15:00	環境都市工学科 高橋克夫 教授	水質工学 環境工学	水生生物の保全・修復, 炭を活用した水辺環境の復元
3月23日(金) 11:00~15:00	情報工学科 天摩勝洋 教授	連続系や離散事象系のシミュレーション, 接着機能継手の応力解析と強度評価, 非線型振動の最適化	各種事象のシミュレーションとモデリング, 接着継手の応力解析(特に弾性学を用いた方法), 衝突の伴う振動問題

【点検評価】

18年度の外部資金を見ると、奨学寄附金、共同研究、科学研究費補助金がほぼ同額になっており、バランスの良い配分になっている。今後研究費は益々減額されることが予想されるので、外部資金の獲得は益々重要になる。共同研究の件数を増やす努力を続ける必要がある。

技術相談は、共同研究の先駆けになる重要な業務だが、報告書がきちんと提出されていないケースもあるようである。相談を受けたらきちんと報告するようこまめにアナウンスして行く必要がある。

東葛テクノプラザで開催した技術相談では、相談実績が無かったが、東葛に場所があることが重要なので、充実するよう相談形態を検討しながら、しばらくこのまま続けてゆく。

2.4 その他外部機関等との交流

2.4.1 研究・技術成果公開・出展・発表に関する事業

- (1) 全国高専テクノフォーラム：7月20日～7月21日（長岡市）
発表：「中小企業向け若手技術者教育カリキュラム構築のための「生産技術教育可能性」調査の経緯」（大澤，鈴木聡，佐藤）
出展：パネル展示
- (2) 第5回テクノフォーラム：9月26日（本校）
発表：分科会活動報告（栗本），地域連携活動報告（板垣）
- (3) ビジネスマッチングフォーラム in 千葉：2月21日
発表：高専シーズ（鈴木聡）
- (4) 第6回テクノフォーラム：3月13日（本校）
発表：共同研究事例発表（佐藤，青木）
- (5) 木更津商工会議所 異業種交流プラザ例会
5/11：小田・伊藤，6/8：伊藤・坂田，9/14：坂田・青木，10/12：青木・大枝
11/9：大枝・E石井，2/8：E石井，泉，3/9：室井・大澤

2.4.2 審議委員等の派遣事業

- (1) 木更津市への派遣
4/13 木更津商工会議所異業種交流プラザ総会（大澤，鈴木聡，大坪）
5/11，6/12，7/11，8/30，10/17，12/6 木更津地区ポータルサイト運営協議会全体会議（鈴木聡）
5/22，8/22，9/7 木更津地区ポータルサイト運営協議会学生部会（鈴木聡）
8/4，11/21 「理数大好きプラン」打ち合わせ（B高橋）
- (2) 県とその関連行事への派遣
6/14 千葉県異業種融合協議会 総会（大澤，斎藤）
6/16 東葛テクノプラザ総会（佐藤，石出）
8/1 産学連携交流会[千葉県中小企業団体中央会]（大澤）
10/6 千葉県エネルギー協議会設立準備会（大澤）
12/14 同設立総会（大澤）
10/23 東葛テクノプラザ企業交流オフィス・オープンセレモニー（鈴木聡）
11/29 千葉県特許移転協会（佐藤）
2/21 ビジネスマッチングフォーラム IN 千葉（鈴木聡，川崎，大澤）
- (3) 国とその関連行事への派遣
5/25 中小企業基盤整備機構との連携会議（大澤，斎藤）
1/15 SPP説明会（石出）
2/28 現代GP説明会（大澤，川崎）
- (4) 大学・高専への派遣
7/20,21 全国高専テクノフォーラム（斎藤，川崎，大澤，鈴木聡，石出，B高橋（小林智））
8/22 地区テクノセンター長会議（大澤）
9/18 千葉大学オープンリサーチ（小平，大澤）
11/6,7 国立高等専門学校機構「知的財産に関する講習会」（斎藤，大澤）
- (5) 企業等
3/22 コラボ産学官（千葉信金） 設立総会（大澤）

2.4.3 地域交流（訪問）

- (1) 木更津市との交流
1/9 商工会議所賀詞交換会（校長，大澤）
1/11 異業種交流プラザ新年会（小平，大澤，鈴木聡，川崎）
2/18 商工会議所50周年式典（校長，大澤）
- (2) 企業との交流
4/13 センター長挨拶回り（斎藤，大澤）
12/25，12/27 センター長挨拶回り（斎藤，川崎，大澤）

- 2/16 技術振興交流会企業勧誘（斎藤，大澤）
- 2.4.4 地域交流（来校）
- (1) 市との交流
- 5/10 木更津市役所（大澤，鈴木聡，斎藤）
- 10/3 富来田公民館 前田（鈴木聡，大澤）
- 2/5 市原商工会議所来校（鈴木聡，石出，鬼塚，大澤，川崎，斎藤）
- 学内見学と地域交流の成果発表を行った。
- (2) 県との交流
- 8/21 千葉県経済政策課 中嶋課長他（大澤，鈴木聡，石出，斎藤）
- 9/8 産学連携コーディネータ（千葉県産業振興センター）（大澤，石出，斎藤，川崎）
- (3) その他企業など
- 5/9 技術振興交流会役員会
- 5/21 技術振興交流会総会
- 9/20 千葉信金 多田副部長他（大澤，鈴木聡，斎藤，川崎）
- 1/26 技術振興交流会役員会
- 2/7 中小企業基盤機構 安達（石出，大澤，斎藤）
- 2/7 千葉信金 多田副部長他（大澤，斎藤）

【点検評価】

例年どおりの交流件数である。実質的な交流事業を良く見極めて参加を決める時期に来ているのかも知れない。千葉信金がコラボ産学官を立ち上げるなど、実質的な活動には資金が付くようなシステムもはじまった。今後活動は実質的なものに絞って行く必要があるだろう。

2.5 広報事業

2.5.1 メディア作成

- 2006 年度事業報告 (1,000 部)
- 2006 年ガイドブック (1,500 部)
- Web ページの更新（テクノセンターのページ）
- テクノニュース第9号 (300 部)
- テクノニュース第10号 (300 部)
- 公開講座ポスター（中学校配布用）(1,000 部)
- 小中学生向け講座を抜粋し，専用のポスターを作成し，中学校に配布した。

2.5.2 メディア発信

- 記者クラブ（木更津市役所内）
- 房総ファミリア新聞

2.5.3 公的機関の広報紙発信

- 市役所の広報紙
- 商工会議所等の会報

【点検評価】

今年度は，公開講座の内中学校向けの講座を抜粋して専用のポスターを作成し配布した。今後も外部への情報発信を増やして行く必要がある。

3 ラボの稼働状況

平成 13 年度からの各ラボの使用状況を表 3-1 から 3-5 に示す。

表 3-1 平成 13 年度利用報告

ラボ番号	研究テーマ	報告者	成果
1	バリス型磁歪センサによる応力測定方の各種測定法の各種構造物への応用	黒川章二	学会発表等 6 件
2	超伝導を用いた高感度サブミリ波受信機の開発	石井孝一	
3	自動車ガラス除去に関する技術開発(君津マイカーセンター)	松村志真秀	特許出願
3	カイロプラクティック施術の人体への影響	大藤晃義	

表 3-2 平成 14 年度利用報告

ラボ番号	研究テーマ	報告者	成果
1	EM センサによる鋼材応力モニタリングについての研究 光ファイバーセンサによるコンクリート歪みモニタリングについての研究	黒川章二	学会発表等 3 件
2	卒業研究, 特別研究で使用 誘電体位相器の設計	石井孝一, 小平眞次 泉源	学会発表等 2 件
3	自動車ガラス除去に関する技術開発(君津マイカーセンター) カイロプラクティック施術の人体への影響の基礎研究	松村志真秀 大藤晃義	学会発表等 5 件

表 3-3 平成 15 年度利用報告

ラボ番号	研究テーマ	報告者	成果
1	モニタリングによるコンクリート建造物の補修について 光ファイバーセンサによるコンクリート建造物の変位	黒川章二	学会発表等 8 件
2	雲観測用 95GHzFM-CW モノスタティックレーダーの開発 誘電体位相器の設計	石井孝一 泉源	学会発表等 3 件 (千葉大) 学会発表等 2 件
3	カイロプラクティック施術の人体への影響の基礎研究	大藤晃義	学会発表等 4 件

表 3-4 平成 16,17 年度利用報告

ラボ番号	研究テーマ	報告者	成果
1	塩害劣化環境に位置する RC 建造物の維持管理手法の構築 (東電工業株式会社)	黒川章二	学会発表等 2 件
2	雲観測用 95GHzFM-CW モノスタティックレーダーの開発 (千葉大)	石井孝一	学会発表等 6 件 (千葉大)
3	人体のバイオメカニクス的研究介護予防の身体へ及ぼす影響 (マニュアルメディスン研究所, 徒手医学研究所)	大藤晃義	学会発表等 9 件

表 3-5 平成 18 年度利用報告

ラボ番号	研究テーマ	報告者	成果
1	塩害環境下におけるコンクリートの維持管理に関する研究 (東電工業株式会社)	青木優介	学会発表等 2 件
2	雲観測用 95GHzFM-CW モノスタティックレーダーの開発 (千葉大)	石井孝一	学会発表等 6 件 (千葉大)
3	人体のバイオメカニクス的研究介護予防の身体へ及ぼす影響 (マニュアルメディスン研究所, 木更津市役所)	大藤晃義	学会発表等 7 件

【 点検評価 】

この 5 年間のラボの利用状況には, 単なる卒業研究などの使用も含まれているが, 主に第 1 ラボは企業との共同研究での使用が中心で学会発表も多く成果が挙がっている。また第 3 ラボも平成 13,14 年度は地域企業との共同研究を実質的に行っており, また平成 15 年度からは木更津市役所との共同事業で使用するなど, 成果を挙げている。今後は企業との共同研究をさらに推進するよう, 制度を検討して行きたい。

4 その他

- (1) 知的財産に関する講習会：斎藤、大澤 11月6日,7日
- (2) SPP 説明会：石出 1月15日
- (3) 現代 GP 説明会：大澤,川崎 2月28日

5 課題等

- (1) ラボの使用を地域企業との共同研究を主に行うように申込書や規程の整備
- (2) いまだに電子顕微鏡の一般公開に踏み切れない状態である。これの有効活用
- (3) 技術振興交流会の実質的な成果
- (4) ラボの装置,電子顕微鏡の管理体制見直し
- (5) 特許取得に関する啓蒙活動

運営委員会の実績

第1回 4月11日, 第2回 4月25日, 第3回 5月22日, 第4回 8月3日
第5回 8月31日, 第6回 11月14日, 第7回 12月6日, 第8回 1月16日
第9回 3月14日

運営委員会委員と事務部担当

センター長	大澤 寛(電気電子工学科)	
副センター長	石出忠輝(機械工学科),鈴木 聡(電子制御工学科),佐藤恒明(環境都市工学科)	
センター委員	五十嵐譲介(人文学系) 岡本 保(電気電子工学科) 東 雄二(情報工学科) 小島 俊夫(事務部長)	高橋邦夫(基礎学系) 伊藤 操(電子制御工学科) 高橋克夫(環境都市工学科)
事務部	原 稔継 庶務課長 大坪竹雄 庶務係長	斉藤 正 課長補佐 川崎 和也 庶務主任